

大阪・関西万博／和歌山ゾーン
展示設備及び展示コンテンツの基本設計書

2023.07.31

株式会社 Tangent Japan

目次

1. 展示設備に係る基本設計説明書及び
基本設計図面
2. 展示コンテンツに係る方針説明書及び
内容提案書

展示設備に係る基本設計説明書及び基本設計図面

(別紙にて提出)

展示コンテンツに係る方針説明書及び内容提案書

和歌山百景

— 靈性の大地 —

紀伊半島、和歌山。

山と海が抱き合う複雑な海岸線、豊かな川、巨岩、滝、森すべてに宿る神々。

自然を畏怖し、敬い、あたりまえのようにともに暮らしてきた人々。

悠久の歴史を未来に繋ぐために、存在する靈性の大地。

千年を超える祈りを包摂し、自然と人が共創するコスモロジー。

日本人の魂を伝える使命が、和歌山にはある。

基本方針：三つの多様なコンテンツで「上質な和歌山」を発信

日本人の精神性の原点、和歌山のポテンシャルを引き出す多彩なコンテンツで「上質な和歌山」を発信する。

トーテムの映像とセンターコンテンツ、フードコンテンツをストーリーでつなげ、

他のゾーンでは感じられない一体的な空気感を演出する。




センターコンテンツ



映像コンテンツ



フードコンテンツ



センターコンテンツ

テーマウィーク & レギュラーウィーク

和歌山ゾーンを中心に位置するステージを活用し、トーテムの映像と一体的に、様々なコンテンツを展開する。
テーマウィークとレギュラーウィークを設け、彩り豊かに、和歌山の魅力的なコンテンツを提供する。

テーマウィーク 参加型のイベントを集中させ テーマに沿って 和歌山百景を賑やかに表現	オープニングウィーク	万博の開幕を飾る特別コンテンツ。 各地域の祭りを集中的に展開し、華やかな雰囲気 연출。
	世界遺産ウィーク	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録記念日を中心に、 その魅力を徹底的に伝える。
	コマーシャルウィーク	和歌山県の7振興局地域が中心となり、 それぞれの地域の魅力を伝える独自コンテンツを企画。
	クロージングウィーク	万博の閉幕にふさわしく、地域の伝統芸能を集め、 次代に繋ぐことを強くメッセージする。
レギュラーウィーク コンテンツを厳選し 展示とパフォーマンスにより 和歌山の魅力をアーティスティックに表現	スピリチュアル / ルーツ / インクルーシブを軸に、 和歌山の精神性を表現する上質なコンテンツを展開。 テーマウィーク開催期間以外で実施。	

テーマウィーク & レギュラーウィーク

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

- オープニングウィーク
- コマーシャルウィーク
- 世界遺産ウィーク
- クロージングウィーク
- レギュラーウィーク

オープニングウィーク

期間：開幕 4月13日（日）～4月19日（土）

センターの舞台を中心に、トーテムに囲まれるエリアを使って、
県内地域の祭りのリレーにより、万博のオープニングを賑やかに彩る。

Ex.) 和歌祭 / 真田まつり / 笑い祭り など



和歌祭



笑い祭

世界遺産ウィーク

期間：7月6日（日）～7月12日（土）

起源の異なる3つの霊場が、紀伊山地の深い森に共存し、道で繋がり、相互利用してきた。

多神教の文化、日本人の精神性を色濃く遺す地域の価値を伝える。

人と自然がつくりあげた“文化的景観”を、トーテムに囲まれたエリア内に再現する。

Ex.) 熊野三山（神官や巫女による舞など） / 高野山声明 / 葛城修験 など



奥之院の森と生身供



葛城修験

コマーシャルウィーク

期間：4月27日（日）～5月10日（土）

9月14日（日）～9月27日（土）

各14日間（7エリア×2日間）

和歌山県内7地域振興局（海草に和歌山市含む）が企画。
地域総参加で賑やかに地域の魅力を発信し、
楽しくおおらかに和歌山百景を描く。



クロージングウィーク

期間：10月10日（金）～10月13日（月・祝）閉幕

フィナーレにふさわしい地域の伝統芸能を集め、
“次代に繋ぐ”ことの大切さを強くメッセージする。

Ex.) 藤白の獅子舞 / 花園の御田舞 / くじら太鼓 など

レギュラーウィーク

期間：テーマウィークを除く期間

原則週替わり（20コンテンツ程度）

コンテンツを厳選し、和歌山の魅力をアーティスティックに伝える作品 / 工芸品展示と、パフォーマンスを展開。

3つの構成で伝える。



醤油醸造「最初の一滴」

スピリチュアル

和歌山のスピリチュアルな空気感を感じさせるコンテンツ
(世界遺産ウィークで紹介できなかった展示等も含む)

Ex.) 華道高野山 / 曼荼羅 / ジオ など

ルーツ

数々あるルーツを印象的にみせるコンテンツ

Ex.) 醤油 / 合気道 / お菓子 など

インクルーシブ

海外、世代を超え、次世代に繋ぎたい大切なエピソードや
活動を物語的にみせるコンテンツ

Ex.) エルトゥールル号 / お身代わり仏像 / パイル織物 など



映像コンテンツ

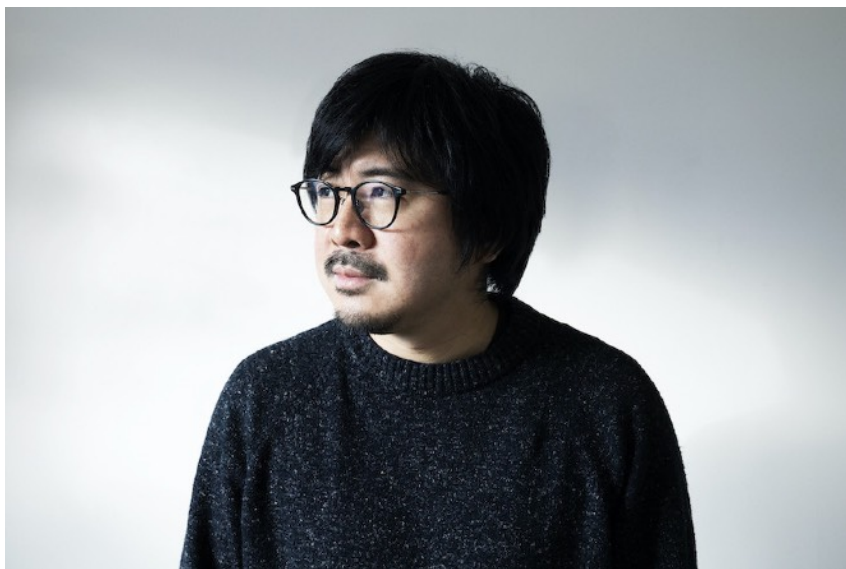
アート映像で魅せる和歌山百景



和歌山ゾーンの空間にそびえ立つ映像のタワー、「トーテム」に、和歌山県各地の美しい自然風景や、神話と歴史に因んだシーン、さらには和歌山の「人」の姿を含めた「和歌山百景」をアートとして表現した映像が映し出される。CGを用いた、抽象的かつアーティスティックなアニメーションがベースとなり、和歌山にゆかりある写真家による作品や、和歌山の美しい風景を描写した映像や写真を織り交ぜる。また、空間の中央に設置されるステージで展開されるセンターコンテンツとも連動した映像演出を行う。

ベース映像クリエイター：村上裕佑氏

トーテムに投影されるベース映像コンテンツを、アーティスト/デザイナー/アニメーターの村上裕佑が制作する。



村上裕佑

3AND クリエイティブディレクター・パートナー

New York大学で映画科学士取得。Royal College of ArtのVisual Communication科修士取得。ニューヨークで働いたのち、ロンドンHingston Studioに従事し、Massive Attack・David Bowieなどの映像やアルバムジャケット、Rolls Royceのブランディングムービー、映画のメインタイトル、Soph.とのコラボレーションなど世界中のクライアントの仕事を手がける。2016年にTANGENTと共同でドバイのブルジュ・ハリファの外壁に巨大なインスタレーションを演出する。2020年にデザイン集団「3AND」を立ち上げ、ロンドンと東京を拠点にグラフィックから映像、プログラミングまで幅広く世界で活動する。

和歌山ゆかりのアーティスト

ベース映像クリエイターの村上裕佑と協力して、和歌山ゆかりのアーティストによる素材を用いて映像作品を制作する。

和歌山の豊かな自然を表現する写真家や映像作家6～10名を選定していく。

常設の映像作品として30分～60分程度を想定。

また、いくつかのステージコンテンツに対して連動する作品も作成。



村上裕佑氏の作品（村上裕佑公式ウェブサイトより）





フードコンテンツ

森を食べる

和歌山の森や野山の季節感が味わえる、「美味しい」だけでなく「食のアート」体験を提供する。

季節を味わえる和洋菓子を中心としたカフェ。

万博開催の6ヶ月間を3シーズンに分け、県内事業者と協力し、カトラリーやプレートも含め、五感で和歌山の文化を感じる場とする。

コマースウィーク中には、和歌山にゆかりのあるシェフとコラボレーションした特別企画を展開。



フードコンテンツ全体監修

フードコンテンツ全体の監修は、今最も注目の「FARO」シェフパティシエ、加藤峰子氏。



加藤峰子

FARO（資生堂パーラー）シェフパティシエ。

デザイン、美術、現代アートやモノづくりに興味を持ち、食の分野からパン・お菓子の道を選び進む。約10年間、「イルルオゴディアイモエナディア」「イル・マルケジーノ」「マンダリンオリエンタルミラノ」（ミラノ）、「オステリア・フランチェスカーナ」（モデナ）など、イタリアの名立たるミシュラン星獲得店にてペイストリーシェフを勤める。「エノテカ・ピンキオーリ」（フィレンツェ）のチョコレート部門を経験。レストランガイド『ゴ・エ・ミヨ』2022年度版で国内で唯一「ベストパティシエ賞」受賞。

2021年1月、オリエンタルヴィーガンコース「高野山」で、高野山の冬の森をイメージしたデザートを提供。先祖の墓が奥の院にある。

「FARO」では、旅するように特別な体験として脳裏に残るようなレストランを目指し、日本の自然や和のハーブをリスペクトしたデザートを提案。国産自然農法のフルーツや花、日本蜜蜂の蜂蜜、自家製酵母など原材料からこだわりメニュー開発に取り組む。

コラボレーション企画

フードコンテンツ全体監修者のもと、常設メニューを作成する。

また、コマースウィーク中には、和歌山にゆかりのあるシェフとコラボレーション企画を展開。

併せて、和歌山産の食材を国内外にアピールする。

和歌山県ゆかりのシェフは3～5名選定し、

和歌山産の食材を国内外にアピールするようなメニュー開発を目指す。

メニューは常設2～3品、コラボ1～3品を想定する。



加藤峰子氏の作品 (FARO公式ウェブサイトより)

TANGENT